

- 2 施策評価の結果まとまる
- 3 交通事故ゼロに向けて
- 4-5 特集 国籍を超えた心の交流
～市内で暮らす外国人を紹介～
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

心も灯す 安心の明かり



太陽が沈み空が薄紫色に変わるころ、ぽつぽつと始まり始めた街路灯が、家族の帰り道をそっと照らします。

暗い時間も安心して歩けるよう、まちに欠かせない街路灯。市内では、交通量の多い道路や交差点を中心に約2700基が設置され、防犯灯と共に夜のまちを見守っています。市は1月から、市内全域の街路灯をより明るく寿命も長いLED（発光ダイオード）に取り替えていきます。消費電力が少なくてLEDを使うことで、電気料金を半分ほどに減らせるだけでなく、二酸化炭素の排出も抑えられます。

街並みの一部として何気なく立っている街路灯。より機能高め、これからも皆さんを見守り続けます。

街路灯維持課 ☎ 225-23309

未来のために、今選ぼう クールチョイス COOL CHOICE

地球温暖化を進行させる二酸化炭素を減らすため、「賢い選択」を実践しましょう。

選ぼう！「省エネ行動」

- 省エネ・低炭素型製品へ買い替える
- 暖房は20℃に設定する
- 公共交通機関を使う

環境政策課 ☎ 225-2746

写真の街路灯も来年からLED化

Zoom Up

30施策のうち21が順調

施策評価の結果まとまる

市では、将来のまちの方向性を定めた総合計画「あつぎ元気プラン」の進み具合を確認するために、毎年、施策評価を実施しています。評価の結果を検証し、市民の皆さんが満足できる、より良いまちづくりを生かしていきます。

施策評価は、市民の皆さんに市の取り組みに対する満足度などを聞く「市民満足度調査」の結果と、就学前児童の保育施設入所率やごみの資源化率など、施策ごとの達成率を点数化し、進捗を検証するものです。今回は、30施策のうち、21が順調に進んでいると評価されました(下欄参照)。

市民協働の意識が浸透

「順調」の評価を受けた中でも特徴的だったのは「市民参加・市民協働の

推進」の施策のうち「市民協働による行政運営の推進」の項目です。市民満足度調査で「満足」「やや満足」と回答した割合が前回から7.8ポイント上昇。市が定める目標値を最も大きく上回りました。これは、市民の皆さんが行政と共に地域の課題を解決していく市民協働提案事業や、安心・安全なまちづくりなどに積極的に取り組んでいることで、市民協働の意識が高まっている表れだと考えられます。

さらに、昨年の評価で「満足でない」割合が高かった「活力ある中心市街地

の実現」の改善も特徴の一つです。本厚木駅周辺の整備などに積極的に取り組んだ結果、満足度が前回から4.8ポイント上昇しました。

まちの魅力向上が課題

一方、「あつぎの魅力の創造と発信」と「新たな戦略による観光のまちの実現」の2施策では、「おおむね順調」の評価となったものの、市民満足度の目標達成率で8割を下回る結果となりました。公募市民や学識経験者らで組

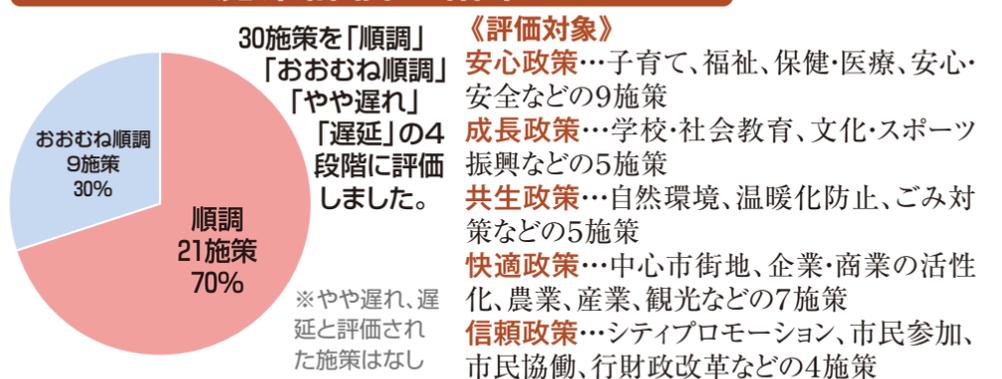


市民協働で安心・安全なまちをつくるセーフコミュニティの活動は今年で11年目を迎え、11月には市内で国際会議を開催した

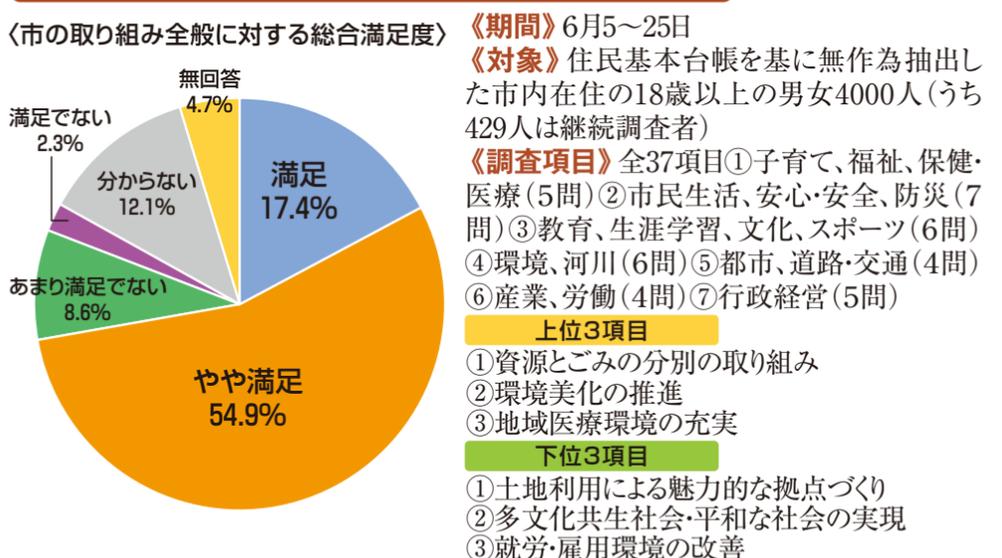


市街地の活性化に期待が寄せられる現在工事中の本厚木駅南口地区再開発事業の完成イメージ(2020年度完成予定)

施策評価の結果



市民満足度調査の結果



総合計画の総仕上げに向けて

市の総合計画「あつぎ元気プラン」は、今年で10年目に入り、総仕上げの時期を迎えています。いつまでも住み続けたいまちであるために、評価の結果を十分に検証し、施策の目的や方向性を確認しながら、市民の皆さんと共に着実にまちづくりを進めていきます。

学識経験者や市民の皆さんが市の事業を評価する外部評価を、8の事業で行いました。評価は5区分で実施。結果に基づき、事業の改善を進めていきます。

市民参加型外部評価の結果

《対象事業と結果》	
評価区分	評価対象事業
拡大	自転車走行空間整備事業費
現行通り	介護職員キャリアアップ等支援事業補助金
要改善	・見本市等出展事業補助金
	・子育てパスポート事業費
	・男女共同参画推進事業費
	・映像メディア活用事業費
	・運動公園維持管理事業費
	・スマートハウス推進事業費補助金

※縮小、廃止と評価された事業はなし

行政経営課 ☎225-2160 (詳しい結果は市HPに掲載)

行政経営課 ☎225-2160 (詳しい結果は市HPに掲載)

☎225-2455



①事故を再現した睦合中での交通安全教室②自転車シミュレーターを体験する南毛利中の生徒③事故防止を呼び掛ける交通安全母の会のメンバー

Zoom Up

ルールやマナーを再確認

交通事故ゼロに向けて

交通事故は、私たちの平穏な日常を一瞬で奪っていきます。年末は、交通量が増え事故も起きやすい時期。運転者も歩行者も改めてルールやマナーを確認し、事故を未然に防ぎましょう。

自転車・二輪車の事故に要注意

厚木市には、東名高速道路やさがみ縦貫道路をはじめ、国道246号などの広域幹線道路が通り、多くの車両が行き交います。市内での交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、痛ましい事故は未だ後を絶ちません。今年市内で起きた事故は801件(10月末時点)。5人が命を落としています。

市内で発生している事故の多くは、自転車と二輪車に関わるものです。県内では昨年、イヤホンをしてスマートフォンを操作しながら自転車に乗っていた大学生が、高齢者に衝突し死亡させる事故が発生。大学生には今年、禁錮2年が求刑されています。

事故は、少しの気の緩みや確認不足から起こります。市では、警察やバス会社と連携し、自転車に乗る機会が多い学生を対象に、交通ルールや事故の恐ろしさを伝える教室などを開催。身近な場所で起きた事故の映像を見せたり、目の前でスタントマンが衝突する様子を再現したりすることで、自転車に乗る時の注意を促しています。さらに、

ヘルメットの購入費を助成するなど、被害を軽減する取り組みも進めています。

高齢者にはみんなで配慮を

近年は、高齢者の事故が全国的にも増えています。歩行中や自転車での走行時に被害に遭うだけでなく、自動車の運転を誤り加害者になる事故も発生しています。厚木警察署交通担当次長の竹内洋一さん(51)は「高齢になると、身体的な衰えや、瞬時の判断能力の低下によって事故に遭いやすく、起こしやすくなる。本人はもちろん、家族などみんなで気を配ることが大切」と呼び掛けます。

年末年始を安心・安全に

年末年始は、交通量や飲酒の機会も増え、事故が起きる可能性も高まります。市内では、交通安全を呼び掛けるキャンペーンなどが開催されます(左下欄参照)。この機会に改めて交通ルールやマナーを確認し、事故の無いまちを目指しましょう。

交通安全課 ☎225-2760

みんなの配慮で事故防止を

事故は、暗くなり始めの時間帯に多く発生します。年末になるにつれ、日が落ちる時間も早まっていくため、警察では、日没1時間前から車や自転車などのライトの点灯を呼び掛けています。運転者の見通しが良くなるだけでなく、歩行者も認知しやすくなります。歩行者は、夕方出掛ける時は明るい色の服装を心掛けるなど、事故を防ぐには、運転者、歩行者双方の配慮が大切です。



厚木警察署 交通担当次長 竹内洋一さん(51)

最近増えている高齢者の事故も、みんなで支えることが大切です。警察でも相談窓口を設置していますので気軽に相談してください。

【高齢ドライバーの運転適性相談窓口】 厚木警察署交通第一課 ☎223-0110

12月 11~20日 年末の交通事故防止運動

事故が増える年末に向け、交通安全を呼び掛けます。



交通安全市民総ぐるみ大会

《日時》12月8日 13時30分~16時
 《場所》文化会館
 《内容》①交通安全功労者などの表彰②講演「高齢者の事故防止対策」。講師は千葉大学名誉教授の鈴木春男さん
 《定員》350人
 ☎当日直接会場へ。先着順。

年末の交通事故防止パレード

《日時》12月15日 13時~14時30分
 《場所》厚木中央公園~あつぎ大通り~厚木一番街~厚木中央公園
 《内容》一日警察署長を務めるTBSアナウンサーの皆川玲奈さん(予定)や、警察音楽隊、交通安全母の会などが事故防止を呼び掛けます。



交通安全課 ☎225-2760

12月 3~9日 障害者週間

誰もが住みやすいまちになるよう、障がいへの理解を深めましょう。



マークとカードは障がい福祉課で配布しています

手作り製品展示・即売会

市内の事業所などで働く障がいがある方が作った製品を販売します。売り上げは、製作者の生活支援などに使われます。
 《日時》12月3~5日 10時30分~14時
 《場所》市役所本庁舎
 《販売品》ポストカード、アクセサリ、シフォンケーキなど
 ※製品は、アミューあつぎにある「厚木市まるごとショップあつまる」でも常時販売しています

障がい福祉課 ☎225-2221

ヘルプマーク・ヘルプカード

外見では分からなくても、配慮や援助が必要な方が着けているマークです。カードには、援助してほしい内容や、氏名、連絡先などが書かれています。

◆どんな人が持っているの?

- ・視覚や聴覚などに障がいがある
- ・義足や人工関節を使っている
- ・内部障がいや難病がある
- ・妊娠初期など

◆見掛けるときは?

- ・電車やバスでは席を譲る
- ・駅や商業施設の階段、交差点などで困っていたら声を掛ける





心の交流を

あつき 元気Wave
ケーブルTV 12/1~
市内で暮らす外国人を紹介

厚木市には、就労や留学などの理由で多くの外国人が暮らしています。その数は年々増加する一方、言葉や文化、習慣の違いに戸惑う人も少なくありません。国籍を超え、誰もが暮らしやすいまちにするには何か。今回紹介する2人と取り巻く環境から、そのヒントを探ります。

◎市民協働推進課 ☎225-22015

「来日してどれくらいになりますか」「日本での生活は慣れましたか」。多国籍の市民が会食をしながら交流を楽しむインターナショナルティーサロン（以下サロン）で、参加者に気さくに話し掛ける人がいます。バングラデ出身のサハ・ピブルカントさん（37・栄町）。来日して14年目のサハさんは、市内の企業に勤める傍ら、サロンを主催する会の委員もしています。「来日したばかりの頃は、日本語が話せなくて、思うようにコミュニケーションを取れず寂しかった」。サロンでは、来日して間もない参加者に積極的に声を掛け、自身の体験や厚木で暮らす魅力などを伝えています。

日本語が話せなくて孤独に

「バングラデシでは、日本製のテレビやカメラがとても人気」。サハさんは幼い頃から日本の高い技術力に憧れていました。母国の大学を卒業した後、市内にある東京工芸大学の大学院で電子工学を学ぶために来日します。しかし、日本語が話せないことで友達ができなかったサハさん。「憧れの日本で学べてうれいはずなのに、早く母国に帰りたいという気持ちが強くなっていった」と心細い日々を送っていました。



今回の企画を話し合うサロンのメンバー

始めの一步が大切

サロンは年に4回開催しています。サハさんは毎回すべての人と交流ができるよう自ら声を掛けることを心掛けています。中国から来日して1年半のラク・キョクホウさん（26・東町）は「サハさんは、日本の生活で分からないことや困ったことがあったら教えてくれる。日本でのお兄さんのような存在」と信頼を寄せます。「かつての自分のように日本での暮らしに孤独を感じている外国人はまだ多いと思う。サロンは、その人たちにとって一歩を踏み出すきっかけの場になりたい」。サハさんの活動は、これからは厚木に住む人たちと外国人の懸け橋になります。

地域に溶け込む

「中平自治会の河上です。よろしくお願ひします」。地域の高齢者を自治会館に招き交流する、ミニデイサービスの会場。ペルー出身の河上ドリスさん



サロンで参加者に話し掛けるサハさん(中央)



広報紙を配布するときに地域の人と交流する

自治会の班長に

ドリスさんは、日本の文化に触れるため、25年前に友人と来日しました。その時に出会った日系ブラジル人のマルコス武さん（44）との結婚を機に一時期帰国。ブラジルとペルー、どちらに住むか迷いましたが「治安や教育環境の良い日本で子育てがしたい」と移住を決定しました。

みんなのサポートで

自治会には、今の家に引越してきたのをきっかけに加入。昨年からは班長を任されています。ドリスさんは「日本語に自信がないので、班長の仕事をきちんとできるか不安だった。良くしてくれる地域の人のために頑張ろうと思った」。マルコスさんは「妻には難しいのではないかと心配だった」と当時の心境を話します。

誰もが暮らしやすいまちに

「文化や習慣は違っても、厚木のまがが好きという思いはみんなと一緒。これからもこのまちと、ここに住む人と共にありたい」と口をそろえるサハさんとドリスさん。まちを愛し、支え合いたいと思う気持ちに、国籍の違いは関係ありません。全ての外国籍市民の皆さんが地域の中で一歩を踏み出し、共に支え合い過ごせるよう、まずは相手を知り、交流を持つことから始めませんか。

みんなが暮らしやすいまちに

市では、外国人が安心して暮らせるまちづくりを進めています。

「資源とごみの正しい出し方」 家庭用ガイドブック外国語版

【対応言語】英語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、韓国語



【配布場所】市政情報コーナー、公民館、環境センター

◎環境事業課 ☎225-2790

119番通報時の多言語通訳

日本語を話せない方からの通報を外国語に同時通訳するサービスです。24時間体制で、16言語に対応しています。

◎指令課 ☎221-2331

外国人相談

【対応言語】英語、スペイン語、ポルトガル語
【日時】毎週木曜、13～16時

日本語教室

市内在住在勤在学の方を対象とした日本語教室です。日時・場所など詳しくはお問い合わせください。

◎市民協働推進課 ☎225-2100

インターナショナル ティーサロン

今回はクリスマスパーティーを開催します。外国人と交流し、楽しいひとときを過ごしませんか。



【日時】12月9日 14～16時
【会場】あつき市民交流プラザ
【費用】200円(小学生以下は無料)
◎当日直接会場へ。☎182478

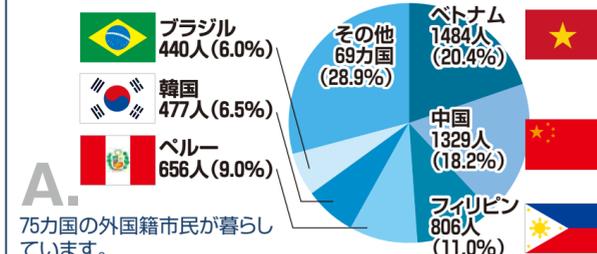
◎市民協働推進課 ☎225-2215



交流はあいさつから
厚木日本語ボランティアの会
会長 山村 恵子さん

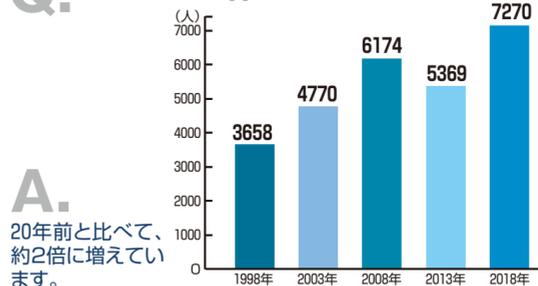
日本に来たばかりの外国の方は、母国と異なる習慣や法律にカルチャーショックを受けることがあります。日本語が話せず、孤独を感じることも少なくありません。皆さんの地域や職場など、身近なところに外国の方がいるときは、まずはあいさつをしてみましょう。言葉が通じなくても、相手を尊重し、優しい気持ちで接することが大切です。そこから交流が始まります。

Q. 何カ国の方が暮らしているの？



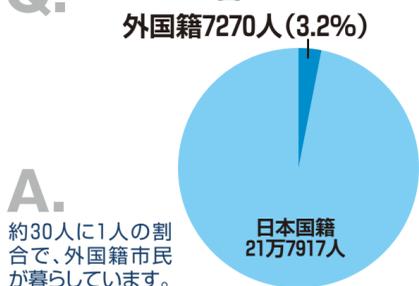
A. 75カ国の外国籍市民が暮らしています。

Q. どれくらい増えているの？



A. 20年前と比べて、約2倍に増えています。

Q. どれくらい暮らしているの？



A. 約30人に1人の割合で、外国籍市民が暮らしています。

教えて 厚木に暮らす外国人

※2018年11月1日現在の厚木市住民基本台帳のデータによる



地域のミニデイサービスで高齢者と一緒に歌を歌うドリスさん(中央右)

国道の交差点に絵画を掲示 児童らがごみ投げ捨て防止を呼び掛け

道路へのごみの投げ捨て防止を呼び掛ける運動が、国道246号金田交差点で実施されました。依知南小学校の児童や地元自治会員ら60人が参加し、ごみ拾いや児童が手書きした啓発絵画29点の掲示をしました。

この運動は、ごみの投棄が多い交差点の状況を改善するため、2010年から毎年実施。昨年には、投げ捨てを減少させた成果が評価され、日本道路協会から「道路功労者表彰」を受賞しています。

子どもと一緒に参加した久木山実咲さんは「絵を見た方に、子どもたちの思いが届いてほしい」と訴えています。



子どもたちの思いが込められた絵画を掲示

日本を含め12の国と地域から専門家らが集結 第9回アジア地域SC会議厚木大会を開催

市民と市が協働して安心・安全なまちをつくるセーフコミュニティ（SC）活動や研究の成果を発表する国際会議が、厚木市で開催されました。日本を含め12の国と地域から集まった約600人に、日頃の取り組みなどを発表しました。

会議は、SCの第一人者が一堂に会し情報交換することで、活動の発展につなげるため隔年で開催。市は、10年間市民の皆さんと取り組んできた活動を世界に発信するため、今回の開催地に名乗りを上げました。

開会に当たり小林市長は「安心・安全な社会の実現は大切なこと。皆さんの協力で今日を迎えられうれしく思う」とあいさつしました。



アジア各地から専門家が集まり、研究成果を発表

街のNEWS



楽しく学ぶ防火・防災

消防本部が幼稚園で防火教室を開催

教室は、市内の私立幼稚園や市立保育所などで毎年開催。園児や教諭に加え、保護者も参加し、家庭での防火・防災意識を高める狙いもあります。

厚木緑ヶ丘幼稚園教諭の小森優子さん（44）は「消防士の皆さんの姿に子どもたちは目を輝かせていた。火事が起きたら何をすべきか勉強に促された」と笑顔を見せていました。



水消火器で消火体験をする子どもたち

みんなの手で広場をきれいに

市内の障がい者就労支援施設が除草作業を実施

市内にある障がい者就労支援施設「障碍者支援センター 鮎の風」の利用者らが、保健福祉センター西側広場を清掃しました。

市では、障がいがある方の社会参加を支援するため、今年から作業を依頼。作業員たちは、熊手や竹ぼうきなどを手に、落ち葉や雑草を集めていました。

作業に当たった奈良浩嗣さん（49）は「広場を使う人に、きれいになったと思ってもらえたらうれしい」と笑顔を浮かべていました。施設職員の後藤優輔さん（40）は「市民の皆さんが声を掛けてくれるので、みんなのモチベーションも上がる」と話していました。



広場を清掃する「鮎の風」の利用者たち



ATSUGI X NEW ZEALAND ホストタウン通信

市内の小学生らがラグビーを体験

ラグビーの元NZ代表選手を招いたラグビー体験会を、厚木公園で開催しました。ラグビーは、タックルなどの接触プレーがないため、気軽にラグビーを体験できます。横浜市などで2019年に開催されるワールドカップに向けて、競技への理解を深めるために県と企画しました。市内の小学生ら約50人が参加し、元NZ代表選手と声を掛け合いながら、競技を通じて交流を深めました。

参加した小学6年生の田村柊さんは「みんなで声を出してプレーするのが楽しい」と目を輝かせて話していました。

今後も、東京五輪に向けて、多くのNZ代表チームが来日します。市では、NZとの交流を通じ、スポーツ振興や教育交流などを進めていきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

石井啓一国土交通大臣が、10月20日に厚木秦野道路の建設予定地を視察しました。厚木、伊勢原、秦野、中の4市町長で面会。早期整備に向けた思いをお伝えしました。

厚木秦野道路は全長29.1キロの自動車専用道路で、慢性的に渋滞する国道246号などの交通の分散化が期待されています。市内では圏央厚木インターチェンジから3.6キロが事業中ですが、予算不足で用地

取得も進んでいない状況でした。「事業を前に進めたい」。周辺首長との要望活動が60回を超える中、私は事業用地を市が国に代わって取得する「用地国債先行取得制度」の活用を判断しました。約10億円を予算化した結果、国予算が倍増することとなり、工事着工に向けた動きが早くも見えてきました。

一方、三田小学校ではこのほど、新しい体育館が完成しました。県道座間萩野線が延伸する影響で、学校施設の再整備が必要となったからです。国や県の仕事を進めることは簡単ではありません。しかし、任せきりにすることなく、積極的に協力することで事業を前に進めていきたいと思います。



視察中の石井大臣(右から4人目)と面会

タウンガイド

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
30	31												

☑=申し込み ☎=問い合わせ
☎=電話番号 ☎=ファクス番号
✉=Eメール HP=ホームページ

📍=マイタウンクラブ(📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込みもできます)

児童館指導員(臨時職員)を募集

《対象》18～65歳で子どもの健全育成に熱意のある方《勤務先》金田児童館(新設)他《内容》子どもの指導育成や施設管理など《期間》2月15日～3月①24日②31日(更新可)《時間》月15日程度で10～17時のうち4時間程度《報酬》時給988円(土・日曜、祝日は1334円)☑履歴書に写真を貼り、直接または郵送で12月20日(必着)までに〒243-0018中町1-1-3青少年課☎225-2581へ。1月10日に面接。



保健師(嘱託)を募集

《対象》保健師の資格を持つ方若干名《勤務先》公民館や地域包括支援センターなど《内容》成人・高齢者の健康相談《期間》1月1日～3月31日(更新可)《勤務日数》4～8日程度《報酬》半日8000円(交通費含む)☑履歴書を持ち、12月18日までに直接、介護福祉課☎225-2224へ。

市民協働推進委員会の委員を募集

「市民協働推進条例」の運用状況の点検や事業の審査をする委員を募集します。

《対象》①市内在住に勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の附属機関などの委員でない④市の議員・職員でない—の全てを満たす方3人《任期》2月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)☑市民協働推進課にある申込書(市HPからダウンロード可)を直接または郵送、ファクス、Eメールで1月10日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課☎225-2141・☎225-4612・✉

800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

あつぎ三十路のつどい

2月9日、11～14時。レンブラントホテル厚木。30歳の方が一堂に会する交流会。1988年4月2日～89年4月1日生まれで市内在住に勤または出身の方と家族200人。1人6000円。☑電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、1月15日までに企画政策課☎225-2450・☎225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。市HPからも申し込み可。

厚木東高校いけばな講座

1月26日、10～12時。厚木東高校。校内の植物を使って生け花の基本を学ぶ。定員20人。700円(花代)☑ハガキ、ファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、12月27日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課☎225-2512・☎225-3130へ。抽選。☎182533

後期危険物取扱者保安講習会

1月24日、第1種(給油取扱所)=9時40分～12時40分。第3種(一般)=13時20分～16時20分。文化会館。危険物関係法令や危険物災害と予防対策、施設の安全管理などの講習。危険物取扱者免状を持ち、危険物を取り扱っている方各270人。4700円(県収入証紙代)☑消防本部や各分署などにある申請書を、12月1日～1月9日(消印有効)に〒238-0011横須賀市米が浜通1-7-2-204県危険物安全協会へ。先着順。☎予防課☎223-9369。

ごみ中間処理施設整備事業の環境影響予測評価書案の説明会、縦覧など

《説明会》①12月7日、19時～20時30分②8日、14時～15時30分=依知南公民館③12月9日、14時～15時30分④10日、19時～20時30分=市役所本庁舎。☑当日直接会場へ《縦覧》1月4日まで(土・日曜、祝日、年末年始を除く)。都市計画

防犯灯の修理専用コールセンターが変わります

防犯灯修理専用コールセンターの電話・ファクス番号がフリーダイヤルになります。不点灯など故障した防犯灯を見つけたら連絡してください。

【変更日】12月15日

【受付時間】9時30分～17時30分(土・日曜、祝日、年末年始は除く)



TEL.0120-057-731
FAX.0120-057-732

【連絡内容】

管理プレートに記載されている自治体名「厚木市」と「管理番号」、故障の状況を伝えてください。管理番号が確認できない場合は所在地、電柱番号、目標物などを連絡してください。

【防犯灯の新設や移設を希望する場合】

周辺に住む方と相談した上で、自治会を通じて申請書を市に提出してください。



☎セーフコミュニティくらし安全課☎225-2148

課他《意見書》縦覧場所にある用紙で確認。詳しくは市HPに掲載。☎都市計画課☎225-2400。

市長選挙立候補予定者 事前説明会

1月9日、13時30分～15時30分。市役所本庁舎。市長選挙(2月17日執行)の立候補に関する説明会。必要書類も配布。☑当日直接会場へ。☎選挙管理委員会☎225-2490。

12月4～10日は人権週間

差別やいじめなど、人権に関する問題でお困りの際は、人権擁護委員の無料相談を利用してください。

《日時》12月5日、①9～12時②13～16時《場所》市役所本庁舎。☑当日直接窓口へ。☎市民協働推進課☎225-2215。



12月は地球温暖化防止月間

再生可能エネルギーの利用や省エネ機器の導入が、温暖化防止につながります。

■スマートハウス導入奨励金

《交付金額》①太陽光発電1キロワット当たり1万円(上限3万円。5キロワット以上で2万円加算)②蓄電池5万円③エネルギー管理(HEMS)1万円④燃料電池5万円⑤太陽熱利用5万円。

■ゼロ・エネルギー・ハウス導入奨励金

《対象》国の補助金を使って建てたゼロ・エネルギー・ハウス《交付

金額》10万円。

いずれも対象は2018年2月21日～19年2月20日に設置完了したもの。☑3月20日までに直接、環境政策課☎225-2746へ。詳しくは市HPに掲載。

アイドリングストップに協力を

冬は、交通量の増加などで空気中の窒素酸化物の濃度が高まります。排出量削減に向け、アイドリングストップを心掛けましょう。☎生活環境課☎225-2752。

3010運動に協力を

会食などの席で食べ残しを減らすため、最初の30分と最後の10分は自席で食事を楽しむ「3010運動」を推進しています。運動に参加し、食品ロス削減を心掛けましょう。☎環境政策課☎225-2749。

技能功労者などを表彰

《技能功労者》川田正勝(指物職・家具職・建具職)雑色稔(理容師)《優秀技能者》鍛代哲也(石工職)福山栄次(調理師)石井良三(自動車整備士)山本芳広(自動車整備士)《優秀青年技能者》成田豊一(大工職)。順不同、敬称略。☎産業振興課☎225-2585。

みんなの声で 作るまち

《パブリックコメント》

■議会基本条例の一部改正

《閲覧期間》12月17日～1月16日《閲覧場所》議会総務課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。☎議会総務課☎225-2701。

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

11月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆子どもたちが舞台を成功させるために一致団結し奮闘する姿が、紙面を通して伝わってきた／70代男性
◆文化会館開館40周年ということで、これまでの歩みを知ることができて良かった／30代女性◆新庁舎の詳細な設計などは、時代を先取りした斬新な発想で整備を進めてほしい／70代男性◆毎年大道芸を楽しみにしているのが今年はどうなパフォーマンスが見られるのか待ち遠しい／50代男性

編集後記

特集の取材で厚木日本語ボランティアの会に話を伺いました。外国人対象の日本語教室では、言葉だけではなく、日常生活をする上でのマナーやルールも教えているそうです。文化や習慣の違いで、外国人と日本人双方が嫌な思いをしないためとのこと。印象的だったのは「母国に帰ることがあったら、厚木での生活が楽しかったという思い出を持って帰って欲しい」という言葉。外国人と接する機会があったらこの言葉を思い出したいです／佐藤邦

あつぎブリリアントストーリー

Atsugi Brilliant Story 2018

2/14まで
16:30~24:00

この冬、光輝く思い出の一枚を

美しく輝くイルミネーションが、今年も本厚木駅前を明るく照らします。
テーマは「Fireworks in Winter ~冬に咲く花~」。電子看板「あつナビ」とコラボレーションし「あつぎ鮎まつり」の花火を再現します。すてきな景色を写真に収めて、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などで発信しませんか。
☎商業にぎわい課 ☎225-2840

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV12/1~
見どころを紹介

連載 25周年 自然歳時記

● カケス ●
カラス科

全長 33 ㍉ほど、青い羽が目立つキジバトぐらいの大きさの鳥。丘陵地や山地の森林に生息。「ジャージャー」という地鳴きが聞こえれば近くにいる印/七沢の渓谷で見つけた。 写真・文/吉田文雄



深い谷間から谷間へ、悠々と飛ぶ鳥がいた。晴れた空高く、気持ち良さそうに飛んで行く。
双眼鏡をのぞくと、少し開いた口に小さなドングリが見えた。しばらくするとまた一羽が飛んで行った。しばし時間が経つのを忘れて見入ってしまった。「ジャージャー、ジェージェー」と近く

で濁った声がし、針葉樹の枝先に止まったカケスがこちらを見ていた。
カケスは、昆虫や果実を食べる雑食性だが、秋から冬はドングリをよく食べる。量が多い時はそのドングリを隠して蓄える頭の良い鳥だ。青と黒のしま模様の上品な色合いは、一度見れば忘れられない美しさだ。

厚木市の人口 (11月1日現在) 世帯数 9万9485世帯 (前月比149世帯増) 人口 22万5345人 (前月比141人増) 男11万6557人・女10万8788人